

おおだて 市議会だより

121号

平成28年8月1日



〈はちくんポロシャツのデザイン〉



前面胸部



背面腰部

はちくんポロシャツを着て「忠犬ハチ公」のふるさとをPR（6月定例会）

6月定例会（議場）

平成28年6月7日撮影

平成28年 **6月定例会**（会期：6月7日～6月23日）

- 主な議案等の審査結果（6月定例会）…… P.2
- 一般質問 …………… P.4
- 政務活動費の状況 …………… P.9
- 全国市議会議長会表彰 私もひ・と・こ・と … P.10

主な議案等の審議結果

6月定例会（会期：6月7日～6月23日）

内訳：専決処分の報告1件、報告8件、専決処分の承認3件、条例案5件（うち、議員提出1件）、単行案6件、予算案3件、人事案1件、請願1件、陳情3件、意見書案2件、継続審査中の請願7件・陳情6件

計46件

主 案 件 ・ 内 容	結 果
○ 大館市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 小規模保育事業所（A型）（※）等において、学校教諭資格者等を保育士とみなすことができるようにするものです。	起立採決により 原案可決 （賛成25 反対等1）
○ 大館市エコプラザに関する条例の一部改正 平成29年度から指定管理者制度を導入するため、指定管理者が行う管理の基準、業務の範囲、指定期間などを定めるものです。	原案可決
○ 平成28年度大館市一般会計補正予算（第1号） - 大館版CCRC事業費 801万1,000円 - 福祉医療制度中学生医療費 610万円 - 保育士宿舍借り上げ支援事業費補助金 720万円 - 保育所緊急整備事業費補助金 1,107万7,000円 - 農業経営発展加速化支援事業費補助金 1,133万6,000円 - 肉の博覧会in大館開催補助金 500万円 - 地域産品磨き上げ事業費 1,955万円 - 秋田犬から始まる物語ビルドアップ事業費 1,453万8,000円 - 都市公園安全安心対策事業費 2,370万円 - スポーツ・文化合宿等誘致促進事業費 242万7,000円 以上を含め、補正総額 1 億2,366万7,000円	原案可決
○ 大館市立長木公民館改築建築工事の請負契約の締結 契約金額 1 億8,306万円	原案可決
○ 大館市議会の議員の定数を定める条例の一部改正 今後の市の人口の推移や財政問題、地域経済の動向などを考え合わせ、議員の定数を『28人』から2人減員し、『26人』に改めようとするものです。採決の結果、賛成多数で可決され、 <u>次回の一般選挙から議員の定数は『26人』となります。</u>	起立採決により 原案可決 （賛成21 反対等5）

請願と陳情

6月定例会に提出されたもの

請願	○ 大館市高齢者生産活動施設（中野温泉）の存続を求めることについて	採 択
陳情	○ 難聴児の補聴器修繕費に対する助成について ○ 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求めることについて ○ 子供の医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求めることについて	採 択

継続審査となっていたもの

請願	○ セシウムを含む焼却灰の受け入れ再開への反対について ○ TPP交渉の合意の撤回を求め、協定の調印・批准を行わないことについて ○ 労働基準法改定案の撤回を求めることについて ○ TPP参加に反対し情報公開と国会審議の徹底を求めることについて ○ 原発の再稼働中止を求めることについて ○ 沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求めることについて	継続審査
	○ フットボール専用人工芝グラウンドの設置について	採 択
陳情	○ 歯科衛生士を市の正職員として雇用することについて ○ 医療・介護及び年金制度などの社会保障の充実を求めることについて ○ 介護従事者の勤務環境改善と処遇改善の実現を求めることについて ○ 脳しんとう(軽度外傷性脳損傷)の周知、及び医療・支援体制の整備について ○ 全国一律最低賃金制度実現と最低賃金の改善、及び中小企業への支援について ○ 労働時間と解雇の規制強化について	継続審査

－ 意見書の提出 －

○教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求める意見書

《提出先》内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

○子供の医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書

《提出先》内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

石垣 博隆 議員 (平成会)



観光に関して

〈問〉「秋田犬・はちくん・忠犬ハチ公のふるさと」をさらに前面に出しては。また、商品プラス「ワン」を提案する。

〔市長〕 これまで各種イベントで秋田犬との触れ合いや秋田犬パレードのほか、学校や各地区運動会ではちくんダンスの普及活動など、秋田犬を活用したPR活動を行ってきたが、実際に秋田犬に触れ合える機会が少なく、本市に秋田犬をふやす取り組みが必要であると考えていたところである。市では新たな施策として、大館に來たらいつでも秋田犬に会える仕組みづくりや、秋田犬保存会への支援を行うほか、仮称「ハチ公の駅」に展示スペースやふれあいコーナーを設置する計画であり、さらに「秋田犬・忠犬ハチ公・はちくん」をモチーフにしたまちづくりを進め、今後もある機会を捉えて推進した

い。また、商品プラス「ワン」については、大館の農産物・きりたんぼ・曲げわっぱなどの特産品とのコラボレーションを展開していくことが大館ブランドをつくり上げていく上でも有効と考えていることから、今後も官民一体となって本市のキャッチコピーである「大館というところ。」を国内外に広く発信し、交流人口の拡大に努める。

農業振興について

〈問〉 園芸振興に伴う畑での営農への支援は。

〔市長〕 作付に対する支援については、米の生産調整、いわゆる減反政策が実施されている中で、転作作物に対する助成が中心となっているのが現状である。本市においても単独事業として耕作放棄地発生防止作付推進事業を創設し、重点戦略作物の作付支援を実施しており、減反政策と歩調を合わせたものとなっている。そこで、不作付地や耕作放棄地の解消を推進し、重点戦略作物等の産地化を進めていくために、重点戦略作物作付支援事業において、畑での作付についても助成の対象とする方向でJA等の関係機関と協議の上検討していく。今後は作付農地の地目にこだわらず、枝豆を初めとする重点戦略作物の生

産拡大や品質向上による産地化を図っていく。

〈問〉 平成30年の生産数量目標の廃止に伴う影響と対策は。

〔市長〕 県や市の農業再生協議会では、主食用米の需給改善の観点から作物ごとの目標を定める水田フル活用ビジョンを策定し、非食用米や地域振興作物等の作付拡大を進めており、30年産以降も変更しないこととしている。今後も情報を農家の皆様に周知し、不安を払拭してまいりたい。

佐藤 眞平 議員 (新芽)



道路行政について

〈問〉 市道早口線沿いの集落内の振動・段差や狹隘な道路の解消について市長の考えは。

〔市長〕 市道早口線は路線バスやトラック等大型車両の通行が多く、マンホール等との段差が生じ舗装の損傷が進んでいる。以前から全面的改善の要望があることから国の補助事業を活

用して計画的に取り組む。坂地区は両側の家屋が隣接して道路が狭く感じられるが、6メートル以上の幅員を確保しており、センターライン等の標示や冬期のきめ細かい除排雪により通行の安全確保に努める。

〈問〉 大水害等、災害時の孤立集落の把握と迂回路の整備について市長の考えは。

〔市長〕 過去の災害から孤立集落を想定し、孤立の原因となる土石流・地すべり・崖崩れ等、危険箇所を防災マップに掲載の上、周知している。炭谷地区と平滝地区には衛星携帯電話を配備しており、農道や林道は災害時の迂回路となり得ることから、日頃より点検に努める。

秋田犬に特化する

取り組みについて

〈問〉 行政として飼育と繁殖に取り組み考えはないか。

〔市長〕 平成27年に秋田犬保存会に登録した3,667頭のうち、国内2,400頭、県内148頭、大館はわずか40頭の登録であり、市では保存会と協力のうえ飼育者への支援を検討し、繁殖については専門の見地から県や保存会と相談して支援策を検討している。

〈問〉 狂犬病予防注射の無料化と飼育助成についての考えは。

〔市長〕 秋田犬飼育者への狂犬病予防注射料の助成等を関係機関と協議する考えである。

〈問〉 市職員によるPR運動や他団体への働きかけについて。〔市長〕 今後、全庁的に推進するとともに商工団体等にも働きかけ、地域の活性化につなげてまいりたい。

地域連携DMOについて

〈問〉 大館市の立ち位置は。二市一町一村の特色をどのように連携するのか。また、秋田内陸線についての考えは。

〔市長〕 設立準備段階から本市が中心的役割を担っており、観光地域づくりを進めるため四市町村の強みを伸ばすと同時に弱みを克服し、事業者との官民連携に重点を置き取り組む。秋田内陸線は観光資源としてのポテンシャルが高く、今後、県等と一体で活用やPRを図りたい。

企業版ふるさと納税について

〈問〉 企業版ふるさと納税の取り組みは。

〔市長〕 8月上旬の地域再生計画の認定に向け、五色湖ロッジをベットと泊まれる宿泊施設として申請する予定である。



佐藤 健一 議員 (いぶき)

市管理の桜の手入れ

〔問〕 長木川堤防、桂城公園等の桜の手入れを適切に行っているのか。

〔市長〕 桂城公園の140本の桜や長木川堤防の273本の桜は、毎年、状態を見ながら計画的に剪定し、年2回薬剤散布をしている。また、桂城公園では、桜の長寿命化を図るため平成24年から一部の土壤改良をしている。

〔問〕 一万本桜の今後についてどう考えているのか。

〔市長〕 岩神ふれあいの森の一万本桜は、昭和48年から3年かけて市や市民、各団体等が協力して植樹したものが、平成24年度の調査結果を分析すると、地盤が硬く根づかなかった木や雪害・病気、樹勢の衰えなどで枯れた木が多く、現状は11種類、3,600本ほどである。現在、大館市国土緑化推進委員会の協力によるてんぐ巣病などの

剪定・除去のほか、市では貯水池周囲の散策路や広場の草刈り、倒木処理等を行っている。今後は、長期的展望に立つて着実に維持管理し、専門家のアドバイスによる適切な補植などを行う。

28年度生産調整目標

〔問〕 目標の達成状況、新規需要米の状況はどうか。

〔市長〕 現在、取りまとめ中だが、昨年の実績、ことしの飼料用米の出荷事前申し込み状況や大規模園芸団地整備事業圃場の基盤整備事業等の実施により、飼料用米や枝豆等の作付拡大が見込まれる。生産数量、自主的取り組み目標とも達成の見通しである。また、新規需要米は、JA以外の集荷業者の飼料用米は平成並み、JAあきた北では、約100ヘクタール増加の状況で、全体で昨年度より増加が見込まれる。飼料用米は、主食用米の需給改善に有効な転作物物である。市では、国の飼料用米に対する補助制度の継続を要望する。

市道の舗装補修工事

〔問〕 市道早口線の坂地家後―坂地間、市道岩瀬山田線の上軽石野地内の道路の傷みが激しい。補修工事が必要だと思うが。

〔市長〕 早口線の舗装の全面的な改善については、国の補助事業を活用するなど財源を確保しながら計画的に実施する。岩瀬山田線の上軽石野地区では穴埋めを繰り返しているが、ひび割れが広がっているので舗装補修計画に組み込み補修に努める。なお、今年度中に早口線では本郷地区で60メートルの補修を、また、岩瀬山田線では側溝を50メートルほど入れかえ路肩を広げる予定である。

小棚木政之 議員 (平成会)



道路行政と市民要望への対応

〔問〕 道路行政のあり方を再確認し、市民が納得する形で道路等の改善を。予算不足は理解できるが、五月雨式対応でひどい状態が続いている。道路ごとに優先順位を設定し、完成させるという意志ある管理・整備に考え方を改めるべき。

〔市長〕 道路は市民要望が多い重要なインフラであり、交流

人口拡大を図っていく中で来訪者が最初に目にするものでもある。まちを整える観点からも優先順位を設け、住民の声にも留意しながら計画的に補修を進めていく。

〔問〕 側溝のふたは全て閉じる計画を策定しては。戦後開発が進んだ地区でおくれが目立つなど地域差がある。死亡事故が発生したこともあり危険箇所も多い。緊急性は低いかもしれないが重要性は高い。

〔市長〕 道路と同様に、地域の方々と話し合いをしながら優先順位を定め、計画的にふた設置や側溝改修を進めたい。

〔問〕 市が受けた要望などは可否、進捗などが見えるようにしてはどうか。課題に番号を付し可能な限り公開することで情報の一元化や顛末がわかるため苦情が減ると同時に作業効率があがるのではないか。

〔市長〕 今年度から市民要望、議会からの意見などは全庁で共有化、見える化をしている。公開の手順、手法などを精査し積極的に公開していきたい。

不法設置の看板は撤去、観光看板は点検・整備を

〔問〕 不法設置の政党看板等は撤去・指導を強化すべき。

〔市長〕 市有地に無許可設置の看板は注意・指導している。

景観の問題もあり、今後も適正に対処していく。

〔問〕 市境等の歓迎塔の破損や、看板がないことでの不案内な場所がある。再点検・整備を。

〔市長〕 著しく損傷したものは撤去する。案内看板はデジタル看板なども検討しながら計画的に整備していく。

〔問〕 仮称「ハチ公の駅」の計画が進んでいる。駅から離れているため、インパクトがあり、かつ、コスト低減を図った杉の葉で覆われた明治時代の「奉迎門」に似せた歓迎門を設置しては。

〔市長〕 大変ユニークな提案。さまざまな方から御意見をいただきながら検討したい。

獣害対策について

〔問〕 情報を集約しタイムリーな発信を。猟友会支援も必要。

〔市長〕 警察等との連絡会議で話題にし、対応を協議する。



— 明治時代の「奉迎門」 —

佐藤 芳忠 議員 (無所属)



『障害者差別解消法』への

市の対応について

〔問〕 障害者差別解消法は国や市町村などの行政機関や会社や商店などの民間事業者に対し、障害のある人に対する差別を無くすために制定された法律です。『障害のある人』とは身体障害、知的障害、精神障害のほか、社会的障壁により日常生活が困難な、障害者手帳を持っていない人、高齢者なども含まれます。

差別には、車椅子を理由に入店を断ったり、障害を理由に部屋を貸さなかったりする『差別的取扱い』と、聴覚障害がある人と伝えたのに文字や手話で対応しなかったり、社会的障壁の除去を求められたにもかかわらず、何も対応しなかったりする『合理的配慮の不提供』があります。このような差別的禁止を定めたのが障害者差別解消法です。

差別や社会的障壁は障害のある方でなければわかりません。

例えば出入口の段差や急勾配のスロープを歩く足の不自由な方の大変さ、重い扉を開け閉めする手の不自由な方の大変さ、右側にしか手すりが付いていない階段を昇り降りする左手が不自由な方の大変さ、片側にしか付いていないトイレレットペーパーを使用する時の片手が不自由な方の大変さ、混雑した狭い通路を通る際の目の不自由な方や車椅子の方の不便さなどです。

障害のある方々の社会的障壁を除去するためには、新庁舎設計前からの対応が必要なものです。障害者や高齢者の方々から多くの意見を聞き、社会的障壁除去の模範となるような新庁舎にしていだきたく、3点について伺います。

- (1) 新庁舎と支所等出先機関の障壁の除去について。
- (2) 対応要領の作成について。
- (3) 障害者差別解消支援地域協議会の構成機関と身体障害者、知的障害者、精神障害者団体の参画の有無について伺います。

〔市長〕

(1) 新庁舎建設計画では、段差を排除したフロア、専用駐車場の設置、車いすが対面通行できる幅の通路、車いすが回転できる広さのエレベーター、人工肛門や人工膀胱の方も利用できる多目的トイレ、視覚や聴覚の障害に配慮した触知案内図や音声案内、文字情報設備

等の設置など、さまざまな方策を検討しています。今後も基本設計や実施設計の際には、身体障害者連合会の皆様から意見を伺うとともに、高齢者や子育て世代の御要望も集約し利用者に優しい庁舎の建設を目指します。

(2) 差別解消の規範となる、職員

の対応要領を作成します。

(3) 障害者差別解消支援地域協議会には、さまざまな障害の方からの御意見・御要望を反映させるため、各障害者団体、そして家族会などから委員として参画していただく予定です。



田村 儀光 議員 (平成会)



第2次新大館市

総合計画について

〔問〕 市長は常々「市民とともに、市民と協力して大館をつくり上げていきたい」と話しているが、新総合計画がスタートする年度に当たり、各地区での説明会を開催し内容の周知を図るべきと思う。市長の考えは。

〔市長〕 市民の皆様は広く周知することが重要であることから、広報7月号から10月号まで4回にわたり特集を組む予定。田代地域を初め、各地区でも御説明させていただきたい。

〔問〕 秋田犬の現状はどうなっているのか。忠犬ハチ公のふるさと大館を観光の目玉にするには、現状では観光客を満足させられるか疑問である。飼育者への支援を含め、秋田犬と触れ合える広場など、大胆な改善が必要と思うが、市長の考えは。

〔市長〕 大館大館にふさわしい状況をつくり出していきたいと考えている。5月には東京都銀座の中央通りを秋田犬が散歩するイベントを実施した。このイベントには、秋田県知事、男鹿市長、仙北市長にも参加いただいている。また、大館能代空港では、秋田犬が利用者を出迎えるイベントを始めたところ、大変好評である。今後、ハチ公ミュー

ジウムや秋田犬の触れ合いコーナーをきちんと整備していくことを通じて、国内外からの誘客につなげていきたい。

家庭ごみの収集について

業者選定は競争入札を

検討してみたい

〔問〕 長年、一定の業者に委託し、そのほとんどを随意契約としているようだが、市民からいろいろな不平や批判の声が出ている。業者選定を競争入札で行うよう検討するべきと思うが、市長の考えは。

〔市長〕 将来、ごみ処理を取り巻く環境が大きく変化した場合は、ごみ処理方式や分別方法、収集エリアの見直しなどが想定されることから、競争入札の必要性を検討してまいりたい。

統合医療(※)について

〔問〕 病院事業管理者の見解は。

〔管理者〕 市立病院は保険医療機関であり、そこで実施される診療は規則の中で実施されることが基本となる。我々、保険医療機関としては、安全性、治療方法・効果についての評価が定まり、保険診療等における実施要領が定まった個々の治療について取り組んでいきたいと考えている。



菅 すが
だいすけ
大輔 議員 (新生クラブ)

人口減少を見据えた 大館の創生について

〔問〕 5年に一度の国勢調査の速報値は昨年10月1日時点で7万4,153人、平成22年前回調査との比較では4,793人減少しており、この1年では1,136人減と加速している。地域経営の本質的問題であるだけに人口減少に備えたまちづくりをどう構築するのか伺いたい。

〔市長〕 人口減少という傾向の中でも、持続可能な未来創造都市の実現に努めてまいりたい。

人口減少は市民の暮らしに どう影響を与えるのか

〔問〕 2040年には国保税の1人当たりの負担額が約3万3,000円、介護保険料が約2万6,000円増加するなど住民負担が増加し、市民の暮らしは厳しくなる。市民の暮らしをどう守るのか。

〔市長〕 人口減少は、市民生活に広く影響を与える。また、地域産業にも大きな影響を与える。こうした状況に対応するため、持続可能な体制づくりを進めていきたい。

財政状況の現状と 財政運営について

〔問〕 新庁舎建設、未来づくりプロジェクト、駅前周辺整備、歴史まちづくり事業など各種大規模事業を抱え、起債借入れ

が平成33年度、実質公債費比率が平成36年度、償還額は平成38年度にそれぞれピークとなる見込み。身の丈に合った予算を立て歳入と歳出のバランスが保たれた、いわゆる財政規律を守ることこそ、今本市に求められる持続可能な財政運営なのではないかと考えるが、市長の見解は。

〔市長〕 財政負担の軽減を十分考慮し行財政運営を展開していくため、今後も財政収支の見通しを厳しく想定し、持続可能な財政運営、財政規律の保持に努めてまいりたい。

大館工業高校の跡地利用と 花岡地区再整備について

〔問〕 去年1月、花岡地区町内会連絡協議会は、これ以上花岡が寂れることなく、にぎわい

を取り戻したいとの理由で、市長に直接、要望書を提出しているが、その後どういった方向で話し合いが進んでいるのか。

〔市長〕 工業高校跡地については、広域的な活用を見据えたスポーツエリアとして整備を検討している。地区再整備については、現在事業を実施している市営新町・中町住宅の事業が終了後、市営根井下・大森野・長森住宅3団地の再編に取り組む方針である。

たけだ すずむ
武田 晋 議員 (平成会)



市民プールをどうするのか

〔問〕 本庁舎建設に伴い、解体を余儀なくされる50メートル市民プールをどうするのか。多方面から意見を集約し時代を反映したプールをつくるべきだが。

〔市長〕 新庁舎建設や発掘調査などのため来年1月をめどに解体を完了させる。旧大館工業高校のプールを利用できるように県と協議している。幼児向けは

二ツ山総合公園に水遊びができる噴水広場を整備する計画である。新たな市民プール建設については、来年度以降、検討委員会等を立ち上げ多方面から意見を伺い、方向性を探っていく。

武道館は単独施設を

〔問〕 解体される武道館は、剣道・柔道など日本古来のスポーツの殿堂として、独立した施設が必要。関係団体とじっくり話し合ってほしい。

〔市長〕 旧大館工業高校の格技場を武道館として利用できないか県と協議を進めている。単独建設する場合の施設規模や建設費用につき、将来のまちづくりを見据えた検討が必要であり、市民、関係団体とさまざまな角度から協議を進めていきたい。

スポーツ交流推進係の役割

〔問〕 交流人口をふやす目的で設置した交流推進係は、具体的にどのように進め、現状をどのように変化させるのか。

〔教育長〕 大規模スポーツイベントや合宿などの積極的な誘致のため、スポーツ交流推進係を設置した。今般、合宿誘致を促進するため、スポーツ・文化合宿等誘致促進事業費補助金交付要綱を制定し、関連予算を今

回の議会に上程した。

ふるさと納税のこれから

〔問〕 本市のふるさと納税額は昨年度、2万3,660件・3億8,500万円と驚異的な伸びを示している。今年度も5月実績で、昨年度より250万円ほど多い3,670万円と好成績である。今後もこの制度の傾向を先読みし、右肩上がりの運営を継続していくための運営戦略を示してほしい。

〔市長〕 3月に大館商工会議所とともに大館市ふるさと納税推進会議を立ち上げた。この会議を中心に、世界自然遺産白神山地のつながりのある八峰町・藤里町、友好都市協定を締結した常陸大宮市など関係自治体とのコラボ商品の開発、寄附受け付けチャンネルの追加、専用サイトのスマートフォン対応などを実施する。

大館市をマリンバの聖地に

〔問〕 大館市観光大使に任命された布谷史人氏のマリンバ演奏会の定期開催を熱望する。

〔市長〕 ことし8月にも開催予定であり、今後も布谷氏との交流を大切にしながら定期的にマリンバ演奏会を実施していく。

さいとう のりゆき
齊藤 則幸 議員 (公明党)



熊本地震と

当市の防災対策

〔問〕 平成28年熊本地震と当市のこれからの防災対策について市長の考えは。

〔市長〕 市域防災計画を見直すとともに、庁内検討委員会を設置し、大規模災害にも即応できるような避難所開設・運営マニュアルに修正したいと考えている。

路面下の空洞調査

について

〔問〕 路面下の空洞調査について市長の考えは。

〔市長〕 長倉交差点から新町交差点までの両側歩道約800メートルの調査を実施する予定である。

安全でおいしい水の確保について

〔問〕 新たな水源の開発について市長の考えは。

〔市長〕 市では、平成16年以降、山館浄水場周辺の9カ所で地下水の水源調査を行ってきたが、水量、水源ともに満足できる有望な水源は確保できなかった。

〔問〕 老朽管の更新について

〔市長〕 老朽管更新事業は、水道事業開始当初の昭和30年代に布設した長根山から御成町に至る総延長6・3キロメートルに及ぶ主要管の更新を、平成25年度から37年度までの計画で国の補助事業により実施している。

「ジュニア救命士」

の認定について

〔問〕 ジュニア救命士の認定について教育長の考えは。

〔教育長〕 「ジュニア救命士講習会（仮称）」を企画し、市教育委員会が子どもハローワークを通して受講希望者を募り、修了者には認定書を授与するという仕組みを検討中である。

農業用ため池の

耐震性は大丈夫か

〔問〕 当市の農業用ため池の耐震性について市長の考えは。

〔市長〕 本市のため池は、調査した6カ所のうち4カ所が耐

震不足であった。まずは、ため池管理者と連携しながら、ため池の監視体制の強化に努めたい。

バイスタンダー（※）に

カードの導入を

〔問〕 救急現場に居合わせた人にサポートカード（※）の導入を。

〔市長〕 サポートカードを早急に導入するとともに、一人でも多くの市民の命を助けるため環境を整備してまいりたい。



ささじま あいこ
笹島 愛子 議員 (日本共産党)



大事業がめじろ押し。

財政の展望は

〔問〕 本庁舎建設、図書館の

増改築、松下村塾の移築、仮称「ハチ公の駅」イベント広場、駅周辺の整備、市民プールの解体、旧正札竹村本館棟の解体等、いわゆる建設ラッシュが想定されている。さらに今後は、農業分野、教育、国民健康保険税、高齢者医療など、さまざまな分野への対応と充実が必要だ。

〔市長〕 大規模事業を実施する際は、大館市総合計画実施計画に登載するとともに、中期財政計画にも反映させ、各年度間での事業費の平準化を図るなど、市民負担が過大になったり、後年度負担への負担が集中しないよう、最大限留意しながら計画している。

空き公共施設の

有効活用について

〔問〕 昨年、矢立・花岡・第二中学校が統合されて北陽中学校に。空き校舎となった矢立中学校が矢立公民館となる。1、2階は市の出張所などで活用が決まっているが、3階は未計画のまま。地域の要望もいろいろ聞いているはずだ。老朽化が進む前に早く改築計画を。

〔市長〕 未活用部分については出入り口の確保や消防設備等の整備など、同じ棟であるため多くの制約があることから、民間での活用は難しいと考えてい

る。現在、災害備蓄品の倉庫としての活用を検討することとしている。

全国知事会等からの 国への要望について

〔問〕 子供の医療費助成制度を実施している市町村に対し国は罰則を科している。本市ではこの8月から助成年齢を中学3年まで引き上げることになり、大変喜ばれている。それなのに国は市として実施したことだからと国庫負担金を減らす罰則を科すのだ。これに対し、全国知事会はこのような罰則はやめるよう国に働きかけている。市長として国への働きかけは。

〔市長〕 各自自治体は、子育て支援の施策として福祉医療制度の充実を図っており、減額することは少子化対策に逆行すると、全国市長会、国民健康保険中央会等関係団体が「丸」となって国へ強く廃止を求めてきたところだ。去る6月8日に出席した全国市長会総会においても決議された。今後も県や他市町村とともに、積極的に国へ働きかけていく。

※バイスタンダー…救急現場に居合わせた人（発見者、同伴者等）

※サポートカード…御協力への感謝の気持ちと心のケアのための相談窓口を記載したカード

せいむかつどうひつかみち

平成27年度 政務活動費の使い道

○政務活動費とは

大館市議会では、地方自治法に基づき、大館市議会議員政務活動費の交付に関する条例が定められており、議員1人あたり月1万5,000円が交付されています。これは議員報酬ではなく、市議会議員の調査研究のために必要な経費の一部として交付されるものです。なお、残余金があった場合は返還することになっています。

◎平成27年 4 月分（1 カ月分）

（単位：円）

議員氏名	収 入	支 出					支 出 合 計	市への 返還額
		調 査 研究費	資料費	広 報 広聴費	人件費	その他 経 費		
小棚木 政 之	15,000					16,526	16,526	0
伊 藤 毅	15,000		21,600				21,600	0
千 葉 倉 男	15,000						0	15,000
佐々木 公 司	15,000		15,957				15,957	0
相 馬 エミ子	15,000						0	15,000
合 計	75,000	0	37,557	0	0	16,526	54,083	30,000

◎平成27年 5 月分～平成28年 3 月分（11カ月分）

（単位：円）

議員氏名	収 入	支 出					支 出 合 計	市への 返還額
		調 査 研究費	資料費	広 報 広聴費	人件費	その他 経 費		
石 垣 博 隆	165,000	82,646	16,200				98,846	66,154
日 景 賢 悟	165,000	131,366	35,432			648	167,446	0
武 田 晋	165,000	82,646	23,409	40,946			147,001	17,999
小 畑 淳	165,000	82,646	3,412				86,058	78,942
蛇 川 久 崇	165,000	82,646	13,486				96,132	68,868
中 村 弘 美	165,000	184,976					184,976	0
畠 沢 一 郎	165,000		9,612				9,612	155,388
伊 藤 毅	165,000		10,000	170,800	12,000		192,800	0
阿 部 文 男	165,000	82,646	5,400				88,046	76,954
小棚木 政 之	165,000	180,256				5,022	185,278	0
藤 原 明	165,000	82,646					82,646	82,354
千 葉 倉 男	165,000						0	165,000
田 村 儀 光	135,000	193,406	5,400				198,806	0
佐 藤 久 勝	165,000	82,646	21,600				104,246	60,754
仲 藤 誠 也	165,000	82,646					82,646	82,354
斉 藤 則 幸	165,000		37,534				37,534	127,466
小 畑 新 一	165,000		79,580				79,580	85,420
明 石 宏 康	165,000			251,069			251,069	0
佐々木 公 司	165,000	133,300	59,195			1,600	194,095	0
吉 原 正	165,000		28,853	132,300			161,153	3,847
佐 藤 健 一	165,000		18,770				18,770	146,230
田 中 耕太郎	165,000			138,240			138,240	26,760
相 馬 エミ子	165,000			65,102	10,000		152,992	12,008
岩 本 裕 司	165,000	82,390	4,060	31,119			117,569	47,431
佐 藤 眞 平	165,000	77,890	5,460			2,098	85,448	79,552
富 樫 孝	165,000	77,890	29,700	83,039			190,629	0
菅 大 輔	165,000	77,890	20,359	120,550			218,799	0
佐 藤 芳 忠	165,000	94,580		69,003			163,583	1,417
笹 島 愛 子	165,000	88,660	38,934	53,284			180,878	0
合 計	4,755,000	2,061,662	466,396	1,155,452	22,000	9,368	3,714,878	1,384,898

※ 議員の任期に応じて交付を受けることができるため、平成27年度は4月分を別に表示しております。

※ 支出合計が収入を超えた分は、議員が自己負担しています。

編集後記

福原市長が誕生して一年が経過し、時流の早さに驚いている。就任当初から東奔西走疲れを知らない活躍だ。歴史まちづくり、DMO、CRCなど聞きなれない言葉が数々飛び出し、こちらも勉強を迫られる。

「交流人口をふやすために2020年までが勝負」と言い切る姿勢に信念を感じる。マイナスイメージを責めることなく、福原市長がどんな絵をこの大館市というキャンバスに描こうとしているのか見守りたい。議員として自分の政策をしっかりと持ち対峙して行動することはもちろんである。

（武田 晋 記）

市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴される場合は、市役所東側（裁判所側）3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

☎ 43-7108（直通）

全国市議会議長会表彰

6月議会定例会において、在職25年・20年の議員に表彰状が伝達されました。



菅 大 輔 議員

— 議員在職20年以上 —



笹 島 愛 子 議員



相 馬 恵 子 議員

— 議員在職25年以上 —

おおだて市議会だより 121号 平成28年8月1日

編集・発行 大館市議会 〒017-8555 秋田県大館市字中城20番地 ☎0186-43-7108(直通)

私もひとこと 第27回

宮越 雅一さん (大館市有浦)



大館に文化力を

我が大館には四季折々の変化に富んだ自然や温かい人情が今なお息づいています。一方、少子高齢化・人口減少・所得格差など、急激な社会経済情勢の変化に直面し、成長なき世界をどう生き抜くかが大きな課題になっていますが、昨今のご時勢はギャンブル資本主義で、余りにも経済優先が強すぎるようです。

来るべき時代は、芸術的で創造性に富み、他人と共感できる能力を備えた個人が社会を動かすと言われています。そう考えると、中長期にわたる地方創生の大事業も、ソフト戦略にたけた人材がいるかどうかにかかっています。いくら立派な計画をつくっても、郷土の未来を切り拓く熱き志を持った人たちがいなければ

ばできないでしょう。

やはり社会のあらゆる営みの基礎・基本は人づくりです。ところが、まずは経済優先なのか、人づくりの源泉としての文化・芸術を軽視しがちになっているように思われます。文化・芸術は愛好者のもの、食べていくのにいらぬもの、と捉えがちですが、その波及力は教育・福祉・観光・産業などとの関連性や社会参加の機会を開く包摂機能を持っています。そのような意味からも、市の総合計画の大きな柱である教育文化都市の実現に一層力を入れてほしいと思っております。このことが今回の私のひとことですが、せっかくの機会ですので、私の「見果てぬ夢」を付け加えさせていただきます。

一つ目は、欧州の美術館で散見した子供たちの熱心に鑑賞写真している光景が非常に印象深く、大館にも高度なデジタル復元技術による世界の名画を一堂に展示した日本初の「レプリカ美術館」の開設。二つ目は、郷土が誇る世界的なマリンバ奏者、布谷史人氏をはじめ、大館北秋田出身の音楽家たちを中心としたコ

「私もひとこと」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。議会事務局までご連絡ください。

ンサートや全国の音大生などの講習会も兼ねた総合音楽祭の隔年開催。三つ目は、人と人をつなぎつけ、社会を動かすのは言葉への信頼であるのに、今や詐欺的な言葉遣いや広告的・テレビ的な言葉にあふれ、日本語が乱れつつあることから、例えば松下村塾で寺子屋ならぬ、日本・中国の古典文学や誌歌などの暗唱教室の開設。四つ目は、映画が娯楽の王様であったころ、日米欧のいろいろなタイプの映画を鑑賞し、美貌の俳優、息をのむような光景、心にしみる音楽、人生訓やシャレたせりふでスクリーンに映し出される人間ドラマなどを通して幾度となく感動体験をした者として、駅前通りに復活した映画館の拡張への期待等々。

いずれにしろ、一級・一流のものに触れる文化・芸術鑑賞など、心を揺さぶる体験を通して、子供たちを含め若者の感性や情感を磨き、豊かにする魅力的な機会や場を整備してほしいと思います。長期的展望のもと、我が大館に文化力を醸成していくことを、大いに期待したいところです。